

ろうさい ニュース

令和元年

9月号

第421号

日ごろから、当院の運営に御協力いただき、誠にありがとうございます。
また、当院に患者さんをご紹介くださいますと、重ねて御礼申し上げます。

■新規採用医師の紹介

消化器内科医師 増尾 謙志

はじめまして、8月1日より赴任して参りました増尾 謙志と申します。

平成20年に信州大学医学部を卒業後、大阪府済生会中津病院で初期研修、神戸市立医療センター中央市民病院で後期研修を修了し、クリニカルフェローとして兵庫県立尼崎病院で勤務した後、現在は京都大学大学院医学研究科に在学し主に膵癌の研究を行っております。

浜松での生活は初めてで4ヵ月という短い期間ではありますが、消化器内科の医師として地域の医療に貢献させていただければと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



■フットケア外来を開設します

皮膚・排泄ケア認定看護師 田中倫代

当院では、2019年9月18日（水）より、糖尿病性神経障害、閉塞性動脈硬化症が原因で起きる足病変を対象にフットケア外来を開設します。患者さん個々の足のトラブルに合わせ、重症化しないように適切なお手入れを一緒に考え、ケアを提供します。また、足の病態から早期に専門医（糖尿病内分泌内科、皮膚科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、循環器内科）の診察を依頼し、協働で早期の診断と治療を開始、足救済を目指します。

【対象患者さん】

当院に通院中で、以下の診断を受けた方が対象となります。

1. 糖尿病性神経障害
2. 閉塞性動脈硬化症
3. 足の潰瘍や治療歴のある方
4. 下肢や足趾の切断歴のある方

【提供内容】

1. 足浴、足の観察と神経障害・循環障害のチェック、創のケア
2. 爪切り、角質除去、鶏眼削り、胼胝削り
3. 指導：足の観察方法、清潔方法、保湿方法、やけど予防
4. その他：靴の選び方

【外来日】

完全予約制 水曜日 9:00～11:00 (1名～2名)

所要時間 1人 30分～1時間

担当者 皮膚・排泄ケア認定看護師、糖尿病療養士

場所 2階22番外来

【受診方法】

1. 受診科の医師、看護師にご相談ください。
2. 他医療機関からは、足の病態に合わせた診療科へご紹介ください。

*フットケア外来のみの通院は行っておりませんので、ご注意ください。

■循環器内科の治療について

彦根市民病院 循環器内科主任部長 綿貫 正人

『心原性脳梗塞が減少しない原因は腰の引けた治療のせいだった？』

前回、後期および超高齢者の心原性脳梗塞予防が十分でないことが、心原性脳梗塞患者数が減少していない一つの原因であることを紹介いたしました。

なぜ心原性脳梗塞を十分に予防できていないのかを知るために、カルテから心原性脳梗塞患者情報を収集し解析いたしました。図1、2は入院前に心原性脳梗塞患者の心房細動が確認されていたかを2013年からの2年間と2015年からの2年間で調べた結果です。

(図1)

(図2)

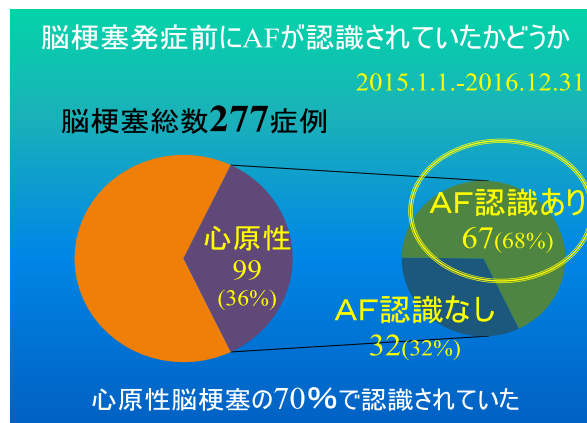
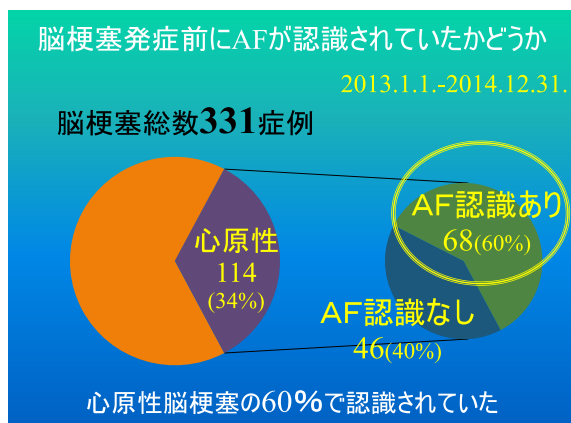
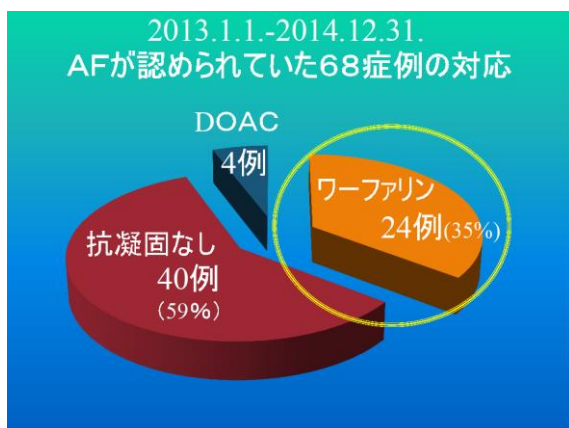


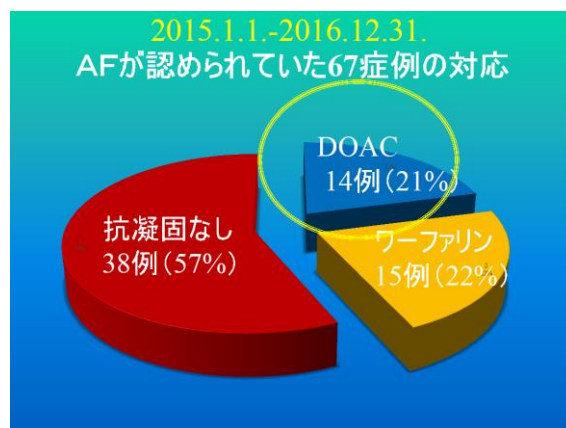
図3、4はそれぞれの2年間で脳梗塞発症前に心房細動が確認されていた患者に対する対応の結果を表しています。

DOAC 使用例が増加していることがわかります。

(図3)



(図4)



ここで注目すべきは解析したそれぞれの2年間で、心房細動が確認されていたにも関わらず約6割の患者が抗凝固療法を受けていなかったことでしょう。

高度腎機能低下、フレイル、進行した認知症、超高齢者に対する抗凝固療法のエビデンスが乏しいことなど、抗凝固療法を控える理由が考えられます。

腎機能低下例については各 DOAC の減量基準が示されています。

プラザキサはクレアチンクリアランス 30~50mL/min、イグザレルトは 30~49mL/min、エリキュースは 1)80 歳以上、2)体重 60kg 以下、3)血清クレアチニン 1.5mg/dL の基準の 2 つ以上に該当する患者、リクシアナは 30~50mL/min と示されています。

抗凝固療法が控えられた患者はクレアチンクリアランスが 29mL/min 以下であったのでしょうか。

(図5)

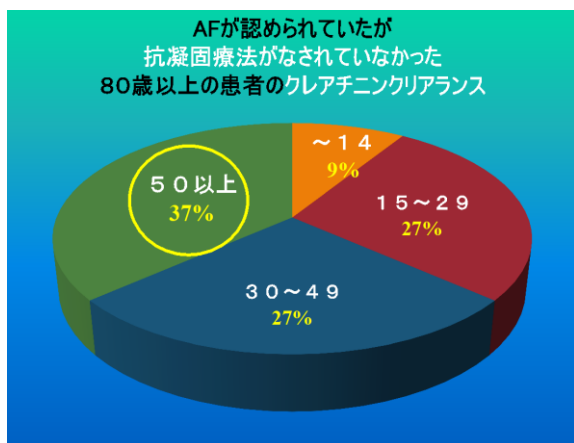


図5はAFが認められていたが抗凝固療法がなされていなかった80歳以上の患者のクレアチンクリアランスのデータです。

クレアチンクリアランス 30 以上が 64% を占め、何らかの DOAC 選択の対象となる 15 以上は、抗凝固療法がなされなかった症例全体の 91% であったことが判明いたしました。

腎機能低下が抗凝固を控える理由とはならなかったことがわかります。

他の理由として出血傾向はどうでしょうか。次号で、紹介いたします。

■当院のイベント情報等

第41回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

令和元年9月4日（水）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催しますので、皆様の参加をお待ちしております。

記

日時：令和元年9月4日（水）19：30～20：30

場所：浜松労災病院6階大会議室

演題：「呼吸器内科感染症の診断における注意すべきポイント」（19：30～）

演者：浜松労災病院 院長補佐兼呼吸器内科部長 豊嶋 幹生 先生

演題：「楽しく学べる感染対策の重要ポイント」（19：45～）

演者：浜松医療センター副院長兼感染症内科部長 矢野 邦夫 先生

第40回市民公開講座の開催について

令和元年10月31日（木）に下記のとおり開催いたします。皆様の参加をお待ちしております。

記

日時：令和元年10月31日（木）14：00～

場所：浜松労災病院6階大会議室

演題：「乳がんのお話」

演者：乳腺外科部長 加賀野井 純一 先生

※ 12月は、脳神経外科部長の講演を予定しております。

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00